

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

(1)おもな動き

【推計人口】 12月

平成26年12月1日の推計人口 1,384,761 人
世帯数 567,848 世帯

1. 推計人口

平成26年12月1日現在の推計人口は、1,384,761人で、前月(1,385,247)に比べ486人の減少となった。

市部では大村市(7)、島原市(5)の2市で増加し、長崎市(96)、南島原市(81)、西海市(52)、五島市(51)、雲仙市(32)、佐世保市(27)、壱岐市(22)、対馬市(19)、平戸市(17)、松浦市(17)、諫早市(6)の11市で減少した。

郡部においては、佐々町(16)の1町で増加し、時津町(47)、新上五島町(18)、波佐見町(12)、小値賀町(9)、川棚町(4)、長与町(3)、東彼杵町(1)の7町で減少した。

自然動態は、出生数877人、死亡数1,376人で499人の減少、社会動態は、転入者数2,527人(県内転入を含む)、転出者数2,514人(県内転出を含む)で13人の増加となった。

2. 世帯数

平成26年12月1日現在の世帯数は、567,848世帯で前月(567,816)に比べ32世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】・・10月

1人あたり現金給与総額 243,433円
対前月比 1.6%増加
対前年同月比 2.3%増加

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみみると、現金給与総額は243,433円で、前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ2.3%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は240,586円で、前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ2.3%増加した。

特別給与額は2,847円で、前年同月に比べて、103円増加した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみみると、総実労働時間は156.7時間で、前月に比べ4.3%増加し、前年同月に比べ1.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は143.9時間で、前月に比べ4.7%増加し、前年同月と比べ1.1%増加した。

所定外労働時間数は12.8時間で、前月に比べ0.8%増加し、前年同月と比べると2.4%増加した。

3 雇用

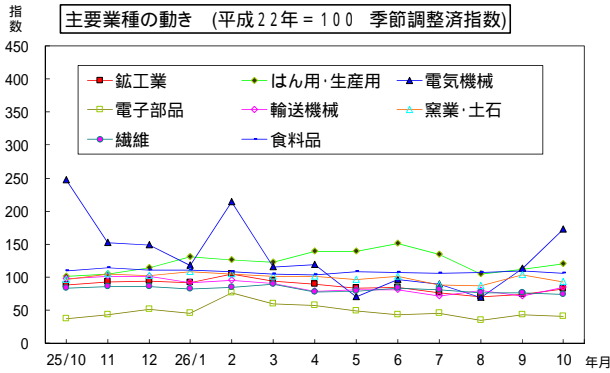
10月の常用労働者数は214,789人で前月比は、0.0%の同水準であり、前年同月に比べ1.3%減少した。

【鉱工業生産指数】..... 10月

平成26年10月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数	前月比(%)	原指数	
			原指数	前年同月比(%)
長崎県	81.7	11.6	87.0	7.2
九州	100.4	1.8	105.5	2.7
全国	98.4	0.4	101.4	0.8



平成26年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が81.7で前月比は11.6%の増、原指数は87.0で、対前年同月比は7.2%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業など4業種が上昇し、窯業・土石製品工業、電子部品・デバイス工業、食料品工業、繊維工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	52.4	30.5	交流発電機
輸送機械工業	18.2	14.1	修繕船
はん用・生産用機械工業	7.4	18.5	ボイラー

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	10.7	4.2	生コンクリート
電子部品・デバイス工業	5.0	9.0	半導体集積回路
食料品工業	3.6	3.2	水産練製品
繊維工業	3.5	11.4	織物製外衣

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 11月

総合指数(H22=100)	102.5
対前月比 (%)	0.5
対前年同月比 (%)	2.0

平成26年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、102.5である。

前月比は、0.5%の下落であり、下落要因は「食料」の1.5%、「交通・通信」の0.4%、「教養娯楽」の0.7%であり、主な上昇要因は「被服及び履物」の+1.0%である。

前年同月比は、8月は+2.9%、9月は+2.9%、10月は+2.8%と推移した後、11月は2.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.9であり、前月比は、0.1%の下落、前年同月比は2.5%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	+ 0.5%
被服及び履物	+ 1.0%
保健医療	+ 0.7%
諸雑費	+ 0.3%

下落した費目

食料	1.5%
住居	0.1%
光熱・水道	0.1%
交通・通信	0.4%
教養娯楽	0.7%

「教育」は前月と同水準

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 11月

消費支出(一世帯当たり)	267,826円
前月比	267,041円(0.3%増)

平成26年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は267,826円で、前月比0.3%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は80.9%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前年比(%)
食料	64,870	1.2%
住居	16,308	22.8%
光熱・水道	20,397	10.5%
交通・通信	41,431	12.1%
教養娯楽	24,623	0.5%

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず参考値として利用ください。